

授業科目名	現代教育論(2100201)		
時間割名	現代教育論(12109)		
時間割担当	鎌田首治朗		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・2		

授業の目標・概要

現代の教育課題は、学校の学力低下やその評価や取組など、教育課程の在り方、学校組織の在り方など社会の抱える問題の縮図となっている。本講義では、学校の抱える今日的課題について総合的に学び、その具体的な対応の方向性についてグループ学習及び発表を通して、主体的に学んでいく。

学習の到達目標

現代教育課題に対する自身の回答を構成しようとしている。
現代教育課題に対する理解をしている。

授業方法・形式

1. 予習は必須である。予告された学習課題に対する自分の意見、理由【根拠】をワークシートに記入して出席する。
2. 自分の意見を全体に発表する。聞き手は、自分の意見よりもすぐれた意見があるかどうかを見極める目的で発表を聴く。
3. 自分がその時間の中で、自分に取り入れるべきすぐれた意見であると考えた意見を、理由と共に発表する。

授業計画

- 第1回 授業の目的、概要
学習ルールとマナー、評価、参考文献の紹介、自己紹介等
- 第2回 第3回以降の学習の流れを役割分担の計画、現代教育課題についての紹介
- 第3回 いじめ、不登校についての資料収集
- 第4回 いじめ、不登校についての事例発表
- 第5回 いじめ、不登校についての対応を考える
- 第6回 学力低下問題についての資料収集
- 第7回 学力低下問題についての学校、教師の取り組み事例発表
- 第8回 学力低下問題について考える
- 第9回 通常学級における発達障害の資料収集
- 第10回 通常学級における発達障害に関わる事例発表
- 第11回 通常学級における発達障害に関わる問題への対応を考える
- 第12回 教育課題から学校組織を考える
- 第13回 教育課題から教師の取り組みを考える
- 第14回 教育課題から自分のあり方を考える
- 第15回 まとめ
獲得できた学びと課題をふりかえり、まとめ、交流し、自らの学びを豊かに深める。

成績評価の基準

予習の達成状況、授業における自主的発表、集団に貢献した行為（40%）学習課題に対する意見の質、課題を追究する意欲的姿勢、すぐれた意見を評価できる力（40%）科目試験（20%）

授業時間外の課題

予習は受講生が受講するための必須要件である。

メッセージ

講義時間内にお伝えします。

教材・教科書

赤坂真二『「気になる子」のいるクラスがまとまる方法!』学陽書房、2011.3

参考書

- 楠凡之『虐待・いじめ 悲しみから希望へ』高文研、2013.7
 秋田喜代美『教師の言葉とコミュニケーション 教室の言葉から授業の質を高めるために』教育開発研究所、2010.2
 楠凡之編『発達障害といじめ・暴力 自己肯定感を育む子ども集団づくり』クリエイツかもがわ、2008.8